第61回 ダイアベイティスウィーク

なら糖尿病デー2025

テーマ **ダイアベイティス？ スティグマ？？ なにそれ？？？**

ダイアベイティス（Diabetes）とは「糖尿病」を意味する世界共通語で、日本糖尿病協会は名称変更に取り組んでいます。
ここには「糖尿病」という呼び方に対する負のイメージを払拭したいという狙いがあります。
糖尿病に対する社会の知識不足や誤ったイメージから、糖尿病を持つ人は様々な社会的偏見や不利益にさらされています。
また患者さん自身も同じような思い込みから自己肯定感を低くしてしまいがちです。
スティグマ（Stigma）とは、特定の病気を持つ人に対して向けられる、偏見や差別、否定的なレッテルのことです。
「自己管理ができないからなる病気だ」「甘いものを食べすぎたからだ」そんな風に皆さん思っていないでしょうか？
これこそが糖尿病に対するスティグマです！ 糖尿病への理解を深め、患者さんに寄り添い支えることがスティグマ解消の鍵です。
日本糖尿病協会は、糖尿病の正しい理解を促進する活動を通じて、糖尿病をもつ人が安心して社会生活を送り、
人生100年時代の日本でいきいきと過ごすことができる社会形成を目指す活動（アドボカシー活動）を展開しています。
「なら糖尿病デー2025」が、糖尿病を持つ人への正しい知識を得る機会となり、
アドボカシー活動に少しでも貢献できればと願っております。

なら糖尿病デー2025　実行委員長　上嶋昌和

看護師	足も心も大切に	糖尿病の合併症の1つ「神経障害」では、足のしびれや傷に気づきにくくなることがあります。放っておくと大きなトラブルになることも。この講座では「足も心も大切に」をテーマに、日常生活でできるフットケアの工夫をわかりやすくお伝えします。
薬剤師	広がる薬の世界 ～未来に繋がる薬のパビリオン～	昔は血糖を下げる薬が中心でしたが、心臓や腎臓の保護効果まで認められた薬も登場しています。 広がっていく薬の世界、昨今の進化についてクイズ形式でご紹介します。薬剤師は、薬の未来をみなさんにつなぐ、パビリオンの案内人として、お待ちしています!!
臨床検査技師	検査戦隊リンケンジャー ～みんなの体を守るヒーローたち～	糖尿病って、ちょっと怖い？ 検査って、数字で責められる気がする？ そんな不安や誤解を、笑って吹き飛ばすヒーローたちが登場！ 検査は責めるためじゃなく、未来を守る力。 糖尿病と“うまく付き合う”ヒントを、検査戦隊リンケンジャーが楽しく伝える15分ステージ！
理学療法士	体を動かすこと、活動に参加することの重要性	ウォーキングのような運動だけではなく、仕事や家事など生活の中で、こまめに体を動かすことも健康に効果的であると言われています。すき間時間や歯磨きなど生活の中でもできるエクササイズを理学療法士と一緒に体験してみましょう！ さらに、買い物、趣味の会など外出、社会活動を通して身体活動を増やしましょう!
歯科医師/歯科衛生士	おくちのチカラ、衰えていませんか？ ～糖尿病とのつながりを知ろう～	みなさんのおくちは元気ですか？ 歯のぐらつきや、かみにくさで柔らかい食事ばかり選んでいませんか。実は、歯周病と糖尿病は互いに悪化させる関係がありますが、さらに「おくちの力の衰え」も糖尿病と深く関わっています。本講演ではその関係をわかりやすくお伝えし、歯科衛生士が予防や実践法をご紹介します。
栄養士	NTE栄養劇場 鹿野家の人々 ～そこに愛はあるんか？～	カップラーメンや冷凍食品、菓子パンやハム・ソーセージなどの加工食品はとても便利ですが、食べ方によっては栄養バランスが偏ったり過食になりやすい可能性があり、健康リスクが高まります。上手に利用する方法を一緒に学んでいきましょう。
医師	「糖尿病」から「ダイアベイティス」へ ～用語がいろいろ変わります～	奈良県総合医療センター 糖尿病・内分泌・消化器内科 部長 上嶋 昌和 先生

■問い合わせ先　JADECなら事務局
（奈良県立医科大学　糖尿病・内分泌内科学講座）
0744-22-3051（代）